

8200

頁 四 一 第

大臣 決裁指定 保存期限

主務局長 受領 昭和 年 月 日

提出 昭和 年 月 日

受領 昭和 年 月 日

了結 昭和 年 月 日

大官房 局長

連帶

行決後 (裁決) 回覽

大臣

受領 番 號 件 名

陸軍省 第五四三號

華僑 救金 處理 関係 件

起元應(課)名

富集團

政務次官 回付 決裁 後 運帶 課名

決行(決裁)後 回覽 課名

政務 次官 高級 副官

主務 課長

參與官

書記官

主務 副官

主務 課員

軍需 主計

長 課

長 課

陸

軍

審 案 登記者

(陸軍密電)

次官ヨリ南方軍總參謀長

第二十五軍參謀長宛電報案

(暗号)

富参ニ電第八五二號返

一華僑ニ五千萬圓納付セシムル件了承

但將來大東亞共榮圈ノ國防費負担

統治上ノ課金其ノ他ニ関シテハ大局

ヨリ考慮シテ住民ニ對シ公明ナル方  
法ニ依リ相當大ナル負担ヲナサシム  
ル如ク考慮セラレ度

右國防費ヲ負担セシムル方法ニ関  
シテハ目下中央ニ於テ研究中ナ  
ルモ現地ニ於テモ研究セラレ度

二華僑ヨリ納付セシ右五千萬圓

陸  
軍

八國庫(軍資金歳入)ニ納付シ之  
ヲ軍政費補填金ニ充當トスルコト  
ヲ得

但シ其ノ場合ハ中央部ノ認可ヲ  
経テ實施セラレ度

右依命

通電先、岡、富



二一八

906 昭和拾七年參月廿壹日



三五四ノ



一七三二七

秘電報

三一五二四二〇  
一六二四二〇  
著

富参ニ電第八五二號

次 官 宛 富集團參謀長

馬來作戰ヲ開始以來 華僑ニ對シテハ嚴正ナル

監視的態度ヲ以テ望ミ來ル所 昭南島

入城以來彼等自本軍ニ對スル關心漸ク深刻

尤ヲ加ヘ來ルト共ニ此等ノ抗日派支那人ニ對シ

強硬政策ノ實施ト相俟ツテ彼等ノ勤向ハ茲ニ

決定的トナリ即チ生命財産及權益一切ハ日本  
 軍ノ活殺ニ任ジ自ラ之ガ保管ヲ爲シツツ謹慎  
 シ命ヲ俟ツ態度ヲ取リ其旨申出ヲ爲シ若シ  
 日本軍司令官ニ於テ寛容ニ御許シ仁政其  
 黨ニ安ズベシトノ恩典ヲ垂レタルニ至ラバ彼等ハ  
 將來ノ忠誠ト財適負擔トヲ誓ヒ且ツ現有財産  
 ノ概ネ其ノ半ヲ害キテ之ヲ日本軍司令官ニ報ズ  
 ベシトノ具體的意志ヲ決定シ代表者ヨリ之ガ

申出來レリ

此ニ對シ彼等ノ心底ハ其ノ言明ト相及スル  
 ナシト認メ軍ハ彼等ノ申出ヲ許容スルコトセリ  
 即チ財産概ネ其ノ半ヲ割ツテ之ヲ日本軍  
 ニ獻ズベシト申出ハ其ノ志ノミヲ受ルコトトシ

其代償トシテ現金五千萬圓ヲ即刻繳付ス  
 ベク命ジ且逃走有力者ノ財産沒收協力  
 スル外今後於ケル不逞抗日支那人ノ行爲

對シテハ彼等支那人ノ連帶責任ヲ以テ之  
 ガ絶滅ヲ期スベキコトヲ命ジタルニ欣然之ガ協力  
 ヲ誓ヒタリ 彼等ノ態度大体以上ノ如ク  
 宜ハ之ヲ許容シタルヲ以テ此處ニ多少彼等ノ  
 心底ヨリ安堵ヲ得タルモノノ如シ  
 現金五千萬圓ハ極メテ短時日間ニ納入ヲ  
 實現スル筈ニシテ尚馬來全体ニ互リ彼等ノ  
 生業再開ヲ認容セリ以上ヲ以テ馬來於ケル第  
 一期華僑對策ノ實施ヲ終了ス更ニ第二段  
 ノ方途ニ入ラントス右取敢ズ報告ス

(終)



9800

保存期限 三年  
決裁指定  
次官  
決行指定

政務次官  
回付  
決裁前後  
連帶  
課名

主務局長	事務局長	大臣	受領番	件名
昭和 年 月 日	昭和 年 月 日	委	陸軍省 三五五二號	華僑納金及國防負擔金ニ関スル件
提出	受領		陸軍省 三五五二號	
昭和 年 月 日	昭和 年 月 日		陸軍省 三五五二號	
了結	受領		陸軍省 三五五二號	
昭和 年 月 日	昭和 年 月 日		陸軍省 三五五二號	

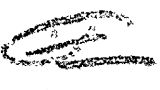


政務次官  
次官  
主務局長




高級副官  
主務課長




課長  
軍事  
主計  
參事

參與官

書記官

審案  
筆記者

決行(決裁)後  
回覽課名

陸軍省

(陸軍密電)

次官より岡富部隊参謀長宛

電報案

(暗号 至急)

南参三電第六。号一及富集電第

四三八号ニ依ル華僑納金ノ處置

及國防負擔金ニ関シテハ目下

貴地ニ出張中ナル軍務局長

及主計課長ヨリ中央ノ意圖ヲ  
聴取セラレ度

通電先 岡、富



237 昭和拾七年 癸月 廿八日

陸軍

軍務課

秘電 三五四



昭 一七、三、二八兵總

秘電

報 三二七

一七、三五

兵站總監部參謀長宛

南參三電第六〇號

函部隊參謀長

陸亞密第二一八號返

本電ニ依テ華僑納付金ノ使途ニ関シ一旦之

ノ國庫ニ納付シ中央ノ認可ヲ受ケ軍政費ニ

補填スベキ趣キ所當方ハ富集電第四

三八號ノ趣旨ニ全然同意ニシテ兵總乙第

六七號ノ占領地軍政官長施上ノ會計処理ニ関

6800

スル件 通牒別紙第三中(1)及(4)項ニ依リ

處理スベキモノト考ヘアリ

國防負擔金ニ関シテハ別途中央ト十分協議

上ニ處理致スベキ付申添テ

一電 光 東京 富参考迄

一電 先 野經長部 主計課 軍事課 軍務課

兵 總

保庫 取立金

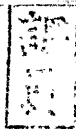
0600

第三 存自ラ行政費目ヲナシ場各

手書ニ於テ其ノ財政ヲ管理シテ海ト令議ニテ吾政會計ヲ透明ニス

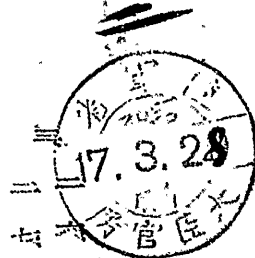
内 財政會計ヲ算テ編成シ法算ヲ行ヒ其ノ收支ヲ明瞭ナラシム

(4) 收入ハ存被施行ニヨリ生スル收入ヲ以テ充テ其ノ過不足ハ臨時ニテ費



1600

秘 要 三五四三



昭和一七年三月

電 報  
兵部總監部參謀長宛  
富集電第四三六號

一〇〇一  
一〇〇二  
一〇〇三  
一〇〇四  
一〇〇五  
一〇〇六  
一〇〇七  
一〇〇八  
一〇〇九  
一〇一〇

富 部 隊 課 長

陸軍密第二一八號返

一 華僑納金ノ五千萬圓ハ多額ト雖モ相場トシテノ所謂過金ニハア  
 ラズ彼等ガ全財産ノ半バヲ割キテ之ヲ軍ニ獻納セント自發的ニ  
 申出アリ右申出ハ其ノ志ノミヲ收ムル事トシ其ノ代價トシ現金  
 五千萬圓ヲ納付セシムル事ニ致シタルモノナリ從ツテ占領地住  
 民一般ニ課スル所謂國防負擔金ニハアラスシテ自發的納金ナリ  
 二 馬來住民一般ニ對シ國防負擔金トシテノ課金ニ就テハ常法ノ如

三ハタ  
老、法所  
コウ以破  
イモルン  
アス



● 閣下 財政的ニ考定申ナリ 政府六策道カニ運轉スルニ  
● 提案ノ五ニ 國約金ニ就テハ 之ヲ早政府輸入豫算ニ繰入該金ニ  
● 於テ行政費ニ充當スルヲ 國庫ニ納入スルニ 等々支出科目ヲ明  
● カニシテ 豫算總覽ノ 國庫ノ 國庫ノ 國庫ノ 國庫ノ 國庫ノ 國庫ノ  
● ナレガ決定ノ 豫算總覽ノ 國庫ニ 國庫ニ 國庫ニ 國庫ニ 國庫ニ 國庫ニ  
● ナキモノノ 國庫ニ 國庫ニ 國庫ニ 國庫ニ 國庫ニ 國庫ニ 國庫ニ 國庫ニ  
● ルヲ以テ此ノ 國庫ニ 國庫ニ 國庫ニ 國庫ニ 國庫ニ 國庫ニ 國庫ニ 國庫ニ  
● ルヲ 豫算ニ 國庫ニ 國庫ニ 國庫ニ 國庫ニ 國庫ニ 國庫ニ 國庫ニ 國庫ニ

(一)